

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	118-2 文化振興一般経費(市民管弦楽団運営補助事業)	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本施策	35 文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	目	07	文化振興費
		細目	128	文化振興経費
行革大綱の重点事項番号		6.7	細々目	01 文化振興一般経費
担当部課	コード	11300	担当者氏名	福島 礼子
	名称	企画総務部企画課		
			連絡先	22 - 9621 (内線) 2115

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市民管弦楽団	※対象件数
成果(どうする)	音楽を実践する場等、音楽に親しむ機会が増え、音楽文化の振興が図れる。	
根拠法令・要綱等	企画総務部関係補助金等交付要綱(市民管弦楽団運営補助金)	
開始年度	平成 15 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	市民の音楽文化の振興を目的に、市民管弦楽団の育成を図るため、伊賀コミュニティオーケストラにその窓口となって活動運営を行っている。 (助成団体実績) * 演奏会活動(3回) * 年間を通じて、月2~4回の練習の実施 * 団員募集活動を行い、21年度は幅広い年齢層から新入団員が増えた。 * 演奏会用備品(楽譜、録音機器等)を購入した。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
演奏会開催回数		回	目標	2	2	2
			実績	3	3	
練習回数		回	目標	35	35	35
			実績	40	30	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
演奏会入場者数		より多くの人に関心を持つことにより音楽文化が向上する	人	目標	650	700	650
				実績	720	607	
				目標			
				実績			

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	0		180		200		300	
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0		180		200		300
一般財源	0		0		0		0	
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.0人	0	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)		720		180		920		1,020

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	より多くの人に音楽文化について関心を持ってもらい、質の高いオーケストラ演奏に触れる機会の提供を与えられる。
	個人(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○ 演奏会を行うことにより、オーケストラ演奏について関心を持ってもらえる。
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	自立運営に向けて、寄付の範囲内で行政支援を行う。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 寄付の範囲内で演奏会用備品等購入し充実を図っている。練習を重ね、演奏会を開催し市民に音楽文化にふれる機会を提供した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	増田 基生
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 市民管弦楽団への寄附金により助成されている事業であり、基金残高により年次的に備品を購入し、事業を推進する。
現時点における課題、その他	寄附金の残高が約1,920千円となっている。備品購入については内容を検討し計画的に実施する。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	市民管弦楽団へ平成24年度以降の購入計画を検討してもらう。